

2 学年だより vol.6

令和4年(2022)/08/26

新潟県立柏崎常盤高等学校

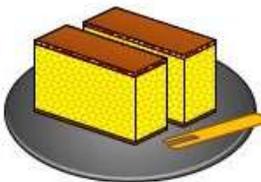


まもなく修学旅行です。 実施期間 10月4日(火)～7日(金) 行き先 北九州方面

新型コロナの感染拡大が気になるころではありますが、実施予定で準備しています。往路と復路で飛行機を利用いたします。初めて乗るといふ人も多いと思ひます。楽しみですね。今回は、往復とも飛行機に荷物を預けます。大きな荷物は機体の荷物倉庫に、手荷物は各自が座席まで持って行きます。それぞれに許可される物と許可されない物があります。今後「例」を、教室掲示して、9月14日(水)の学年集会の時にきちんと説明したいと思ひます。9月は3連休が2回ありますので、その3連休の間に、旅行に必要な物を買つて良いでしょう。



常盤祭も近いです。 9月8日(木)常盤祭準備 ・ 9日(金)常盤祭



6月24日付け保護者宛文書でお知らせしたとおり、常盤祭は平日にて無観客での開催となります。8月26日(金)の始業式の日から、ちょうど2週間後が常盤祭当日です。企画内容は、1組が「ミニゲーム」、2組が「VS嵐」です。

8月下旬から9月中旬まで、部活動の大会があります。

夏休み明け最初の地区大会ですね。例えば、硬式テニスは高校から始める人がほとんどです。県総体で3年生が引退して、夏休み中にみっちり練習してきた人が、グリーンと上達したのがわかる大会です。一つでも勝つとうれしくて、もっと練習して、もっとうまくなってゆくものです。好循環ができるといいですね。



修学旅行の前に中間考査があります。



常盤高校は大学等の上級学校への進学を希望する生徒が多い学校です。左ページのところで触れた「好循環」ができるの良いですね。魚沼市小出の破間川（あぶるまがわ）沿いにある、工事現場での啓発用の大型の看板に「すべては準備で決まる」と書かれていたのを思い出します。「無事故で作業を進めること」も、「納期までに作業を終わらせること」もすべては、準備次第だという事ですね。中間考査は約1か月後に実施です。

担任の先生へ提出する物があります。

リクルート社の冊子（オープンキャンパス ワークブック）を提出してください。スティーブ・ジョブズ、オードリー・ヘップバーン、タモリさんが載っている方の冊子です。夏休み期間中にオープンキャンパスに2校以上参加したと思います。（オンライン参加も可能）関係するページに必要事項を記入して提出してください。



面談週間があります。 8月30日（火）～9月6日（火）



夏休み明けにともない、面談を実施いたします。放課後に1人ずつ、約10分の面談です。内容は勉強のこと、友人関係のこと、進路や将来に関することなどです。高校生ですので、色々と不安な気持ち、心配な気持ちというものは、個人差はあると思いますが、誰もが抱えていると思います。

さて、2学期は長いです。

2学期は大きな行事が連続して予定されています。部活動をしている人たちは、さらに忙しいですね。常に2週間・3週間くらい先までを見て、準備をしながら、少しずつ気持ちを高めて行くが良いと思います（「すべては準備で決まる」ですね）。「一日一日を大切に」という言葉がありますが、高校生のみなさんのためにあるような言葉ですね。「カゲロウ」という生き物がいます。カゲロウは地球上で最も寿命が短い生き物だそうです。成虫になるとたった24時間しか生きられないそうです。世界には2,500種類のカゲロウが存在しますが、その中には数時間しか生きられない種も確認されています。高校生としての3年間は、社会に出るための準備期間です。悔いのないよう一日一日を過ごして欲しいと思います。



最近の朝日新聞の読者投稿欄「声」より、気になったものを四つ紹介いたします。

読んでいただきまして、何かしら感じていただければと思います。

早朝の街で懸命に働く人たち

大学生 村野 真琴
(東京都 22)

いると、あることに気づいた。早朝の高速道路を走る車は、多くが物流関連のトラックなのだ。知らなかつた。私たちが眠っている間も、トラックを走らせて一人ひとりの生活の一部を支えてくれているのだな。物流とは、人体に例えるなら血液のようなものではないかとも思った。私は来春から観光業界で働く。私たちが気づかない所で、私たちのため一生懸命お仕事をされる方々のお役に立ちたいと思う。疲やしひの時を提供できるような尽力したい。今は夏の日差しはなつか、みなさんが熱中症にかからないよう願っている。

8月19日(金)

高校生にスマホ当たり前ですか

主婦 豊巻 智子
(岩手県 46)

今春、娘が高校生になりました。入学前のオリエンテーションで、先生から「確認ですが、スマホを持っている人は手を挙げてください」と言われたそうです。なんと、娘以外ほぼ全員が持っていたとのこと。中学校では必要性を感じなかったし、娘からも欲しいと言われたこともなかったのです。しかし、学校から配られた書類には、スマホやパソコンを利用して宿題などの連絡を行うと記されていて、スマホが必須であることがわかりました。早速、購入へ。店内は混んではいるが当たり前前だと思えますか。持たせるのが当たり前前だと思えますか。

7月30日(土)

バイトより 高校生のいま大切に

高校生 立木 莉乃
(神奈川県 17)

「バイトできるの、うらやましい」と言う友人の言葉をなかなか消化できなかった。高1からバイトを始め、今は飲食系のお店で週2〜3回、3時間。部活も週3回ほどして7月初めに引退。私立の高い学費を払ってこれている両親の負担は大きく、お小遣いや旅行費用を自分で何とかするのはバイトが欠かせない。時間がお金に換算される現実を生きる私。自由に時間を使える友人がうらやましい。「社会経験になる」と言われることもあるが、それより高校生の今しかできないことが山ほどある。部活のほかクラスや学校活動に打ち込むエネルギー。努力と達成感。報われない時の悔しさ……。もったかみしめて過ごしたい。友人の言葉を機に考え、自分の気持ちを確認することができた。このように考えたこと自体が、自分を強くする社会経験の一つになったかもしれない。

7月22日(金)

原爆投下「罪」として認識を

パート 上杉 華
(大阪府 47)

小学4年生の娘が先生に薦められ、漫画「はだしのゲン」を読んでいます。親子で原爆の恐ろしさに震えています。他国に核爆弾を投下することは、手段としてあり得るのだと世界に示してみせた唯一の国・アメリカの罪はあまりにも重い。すでに敵戦に向かっていた日本に、市民生活の頭上に、落とされた原爆。ソ連に対して、世界に対して、原爆開発の成果を見せるために投下したことは明らかではないでしょうか。アメリカは、いつも大義名分を掲げればなりません。

8月1日(月)